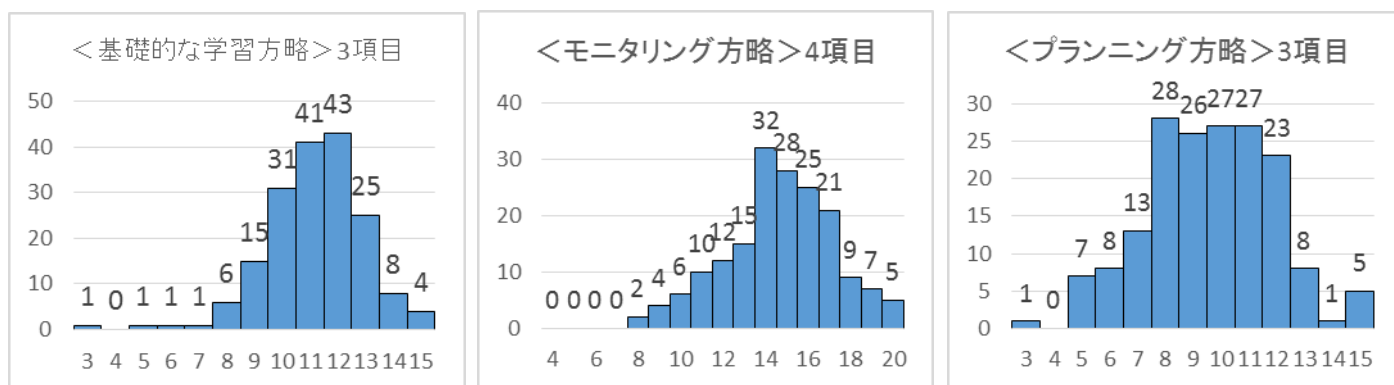


## 2018年度春学期 学生調査結果報告

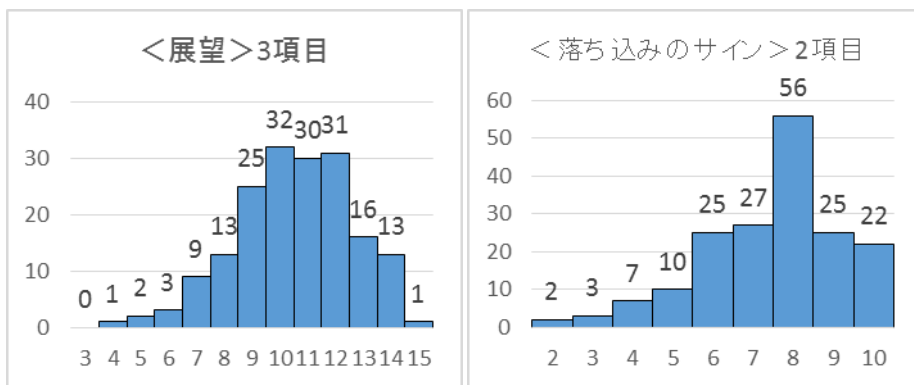
4月に各学年で実施した学部学生調査のうち、得点分布に偏りや特筆すべき傾向が見られたり、統計的に有意な結果が得られたものを取り上げて、以下に報告します。経年変化を見るために、同一サンプルでセメスター間の平均値の有意差を見る際には、対応のある  $t$  検定を用いました。

### 1年生 (48期)

① 3種類の学習方略について、〈基礎的な学習方略〉、〈マネジメント方略〉は右寄りの分布であり、身に着けていると答える学生が多かった。一方で、〈プランニング方略〉は中央値の付近で分布にばらつきがあり、学習の計画性には個人差が大きいことが推測された。



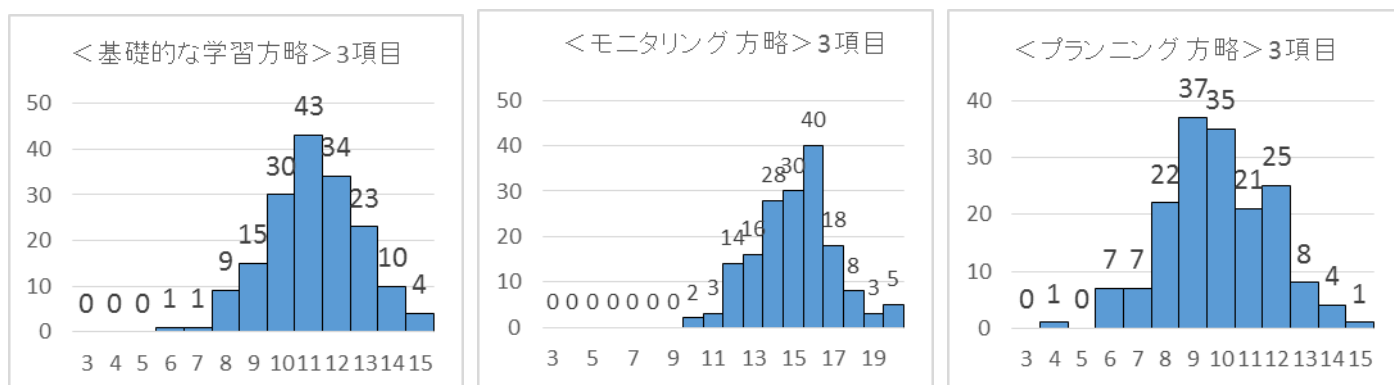
② 〈展望〉においては右寄りの分布であり、教育学部という特色もあり、入学時点で将来の進路や大学の学習の見通しをはっきりと持っている学生が多かった。



③ 一方で、〈落ち込みのサイン〉も右寄りの分布であり、何かしらの不安や、気分の波など、気持ち的な落ち着かなさを感じている学生も多いと推測された。

### 2年生 (47期)

① 3種類の学習方略の分布はそれぞれ以下の通りであった。



47期の1年春学期と比較すると＜基礎的な学習方略＞のみ、若干ではあるが有意に低下しており、（1年春学期：11.9、今回：11.2）、他の学習方略については有意な差は見られなかった。つまり、学習方略の自己認知という面においては、1年次でも2年次でも違いは見られなかった。

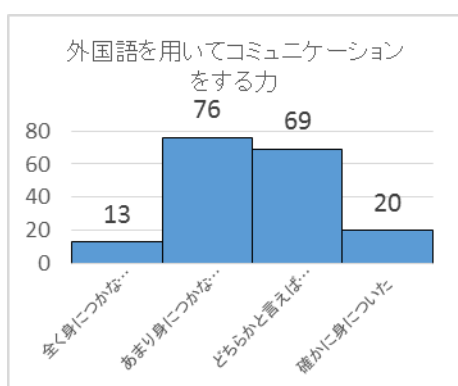
- ② 3種類の学習方略と、＜学習に対する自己効力感＞との間の相関関係は、＜基礎的な学習方略＞（ $r=.179^*$ ）、＜モニタリング方略＞（ $r=.317^{**}$ ）、＜プランニング方略＞（ $r=.387^*$ ）であった。3種類の学習方略の中では、学習を計画的に遂行できることが、学習に対する自信に最も強く関係している示唆された。

**3年生（46期）**

＜学士課程のアウトカム＞における項目ごとの平均値と標準偏差は、平均値が高い順に右表のようであった。

社会性や、本学の理念に基づいた資質がより身についたと評価されやすい傾向が見られた。

一方で、最も低かったのは外国語によるコミュニケーションであり、以下のような分布であった。教職志望が多いという本学部の特質も影響していると考えられた。



	平均値	標準偏差
1 他者と協調・協働して行動する力	3.49	.666
2 自己の良心と社会のルールや規範に従って行動する力	3.47	.604
3 何のために学ぶのかを問う習慣	3.24	.723
4 人類の平和や幸福について自ら考える力	3.24	.638
5 書き言葉と話し言葉を使い分ける	3.16	.695
6 これまでに学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力	3.12	.635
7 社会の一員としての意識を持ち、社会のために積極的に関与する力	3.10	.722
8 多面的に分析し、考える力	3.08	.688
9 日本語を用いて自分の意見をわかりやすく書く力	3.08	.633
10 設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力	3.06	.698
11 多様な情報を収集・分析する力	3.04	.654
12 問題解決に必要な情報を収集し、その問題を解決する力	3.04	.561
13 異文化の人々に関する知識	3.02	.596
14 日本語を用いて文章の要点を的確に読み取る力	3.00	.620
15 人類の文化、社会と自然に関する知識（いわゆる一般的な教養）	2.99	.552
16 卒業後も自ら学び続けることのできる習慣	2.96	.750
17 情報や知識を論理的に分析し、活用する力	2.88	.643
18 問題の本質を見つける力	2.83	.659
19 日本の文化・伝統に関する理解	2.74	.674
20 論理的に一貫した話ができる	2.72	.680
21 外国語を用いてコミュニケーションをする力（読む、書く、聞く、話す）	2.54	.789

**4年生（45期）**

＜学部のアウトカム＞における項目ごとの平均値と標準偏差は、平均値が高い順に右表のようであった。

教育について学問的な視点から学ぶ機会や、知識を得る機会があったと答える学生が多かった一方で、現場に即した学びの機会の確保はやや難しい状況が見られた。

	平均値	標準偏差
1 入学から今までに、複数の学問的視点（たとえば教育学や心理学など）から、教育について学ぶ機会がありましたか？	3.68	.480
2 授業を通じて教育の諸事象を特定の視点から深く考える経験はどの程度ありましたか？	3.30	.546
3 授業を通じて理論的思考力を修養する機会はどの程度ありましたか？	3.18	.569
4 「人間教育」を実践する教師になるための土台となる知識や技能を身につける機会はどの程度ありましたか？（※現在の教職課程履修者のみ回答）	3.10	.658
5 授業以外（たとえばボランティアやクラブ活動など）で教育の諸事象を特定の視点から深く考える経験はどの程度ありましたか？	3.05	.797
6 「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の違いを認識できましたか？（※現在の教職課程履修者のみ回答）	3.02	.798
7 授業で学んだことを活用し実践力を磨く機会はどの程度ありましたか？	2.84	.729
8 基礎能力と現場対応力の両面について鍛錬する機会は、どの程度ありましたか？	2.71	.745
9 学校現場で力を発揮できる資質を磨く機会はどの程度ありましたか？	2.68	.794